

**平成26年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1002

施設名	伊丹市立音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）		
施設の設置目的	音楽を中心とした文化事業の振興を図り、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	120,000	今年度の実績値 117,624

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数 (人)		121,875	119,816	115,655	113,778	113,202	52,098
貸し室稼働率 (%)		60	68	68	67	71	66	74
延べ事業開催回数 (回)		22	148	156	155	164	66	151
延べ事業参加者数 (人)		4,353	35,315	10,516	9,807	11,752	5,447	15,744

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	69,379	指定管理委託料	69,379
	事業収入(公演収入等)	11,625	事業収入(公演収入等)	11,608
	利用料金	23,321	利用料金	23,842
			その他助成金	2,000
	合計	104,325	合計	106,829
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	30,134	人件費	31,165
	維持管理経費	44,439	維持管理経費	45,897
事業等経費	29,752	事業等経費	30,072	
合計	104,325	合計	107,134	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-305	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	1,076	1,776	4,298	4,287	2,967	3,805
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	71,996	95,772	75,508	71,292	73,878	102,740
	(内、指定管理委託料)	67,242	64,742	61,159	64,457	69,357	69,379
実質経費（歳出－歳入）	70,920	93,996	71,210	67,005	70,911	98,935	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果							
		指定管理者自己評価		施設担当課評価					
		評価	特記事項	評価	担当課所見				
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の作業や報告書を確認し適宜修繕を行っている。 ホールの美観に配慮し、敷地内の樹木の生育にも力を注ぐ。 館内の電燈は一部常時消灯。	B	仕様書に基づき、適正に業務が実施されており、節電等についても社会事情や環境に配慮し実施されているが、雨水升等の外部設備の管理に一部不備があったことから、点検等について再度徹底していただきたい。			
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B				
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B				
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B				
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A				
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	外部研修に参加するほか、館内でも勉強会を随時開催。	B	仕様書等に基づき適正に実施されている。			
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B				
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B				
		防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。		B		避難訓練を上下各期1回、年2回実施。	B	仕様書等に基づき適正に実施されている。
			避難訓練を実施しているか。		B			B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	事業実施時に事業並びに施設管理に関するアンケートを行い、施設運営に反映している。	B	利用者の意見を取り入れながら運営を行っているが、利用者増につながるようなアンケートの取り組みを考えていただきたい。			
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		B				
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B				
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B				
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	育成団体の事務局などを通じ、市民の音楽活動を支援。伊丹わくわくリレー音楽会など開催。	B	仕様書等に基づき適正に実施されている。			
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B				
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報書類は鍵のかかるロッカーに保管。メルマガは安全なwebソフト使用。	B	仕様書等に基づき適正に実施されている。情報提供活動については、新たな手法を思案していただきたい。			
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B				
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B				
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	見直しを図りつつ、適切な執行を行っている。	B	収支計画等に基づき適正に執行されている。			
経理処理は、適切に行っているか。		B	B						

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用状況、事業運営状況とも概ね近年と同様の状況である。特徴的な事業の実施に併せ、市民の音楽活動の支援等にも力を注いでいただき、音楽文化の振興にあたっていただきたい。施設、設備の管理については開館から24年を経過しており指定管理者として、普段からその状況を把握するとともに、老朽化に対応した修繕計画を作成する等、適切な維持管理に努めていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「A A」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか…「たいへん満足」「満足」79%	開館から24年が過ぎ、設備や備品の老朽化が著しい。古くなった備品、不要になった備品を捨てたり、雨漏りやトイレを修繕したり、こまめに手入れして長持ちさせる努力をしている。また、音楽ホールの顔であるメインホールの舞台床の劣化も激しく、張り替え方法を検討している。
回答者数	・職員の接客態度はいかがですか…「たいへん満足」「満足」70%	リピーターも多い施設なので、職員間で、お客様に対する情報を共有し、個人対個人の、地域密着型の丁寧で親切な接客を心がけている。
1129	建物の形がかわっているため、館内の構造がわかりにくい。	トイレや事務所の場所がわかりやすいように、案内表示を増設している。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置